



ひもろ木通信

虫の声が聞こえ秋の深まりを感じる今日この頃です。
 新型コロナウイルスについて、県内での警戒レベルも下がりましたがまだまだ油断できない状況のなか、これからはインフルエンザの流行もあり、更なる予防の徹底が重要となってきます。

例年 10月 と言えばひもろ木祭の時期ですが、今年は3密を避けるため一同には会さず各事業所で行います。利用者さん・職員のみでの参加で、10/15(木)に実施する予定です。

ご家族の皆様と楽しい時間を共に過ごすことが出来ず大変残念ですが、どうぞご理解願います。

季節の変わり目です、体調管理には十分にお気をつけください。

上田ひもろ木園

暑い夏もようやく終わり、秋がやってきました。

屋外活動もしやすい季節です。

コロナの流行によりホームから来る利用者さんも、夏期帰省ができなかったりと寂しい思いをされた方も多かったようですが、皆さん元気に登園されています。これからは畑での作業を頑張っていこうかと思えます。



第三上田ひもろ木園

- ・9/25(金)、誕生会を行いました。

- ・季節も過ごしやすくなり外気浴や散歩など

外での活動が始まり、生き生きとした笑顔がみられます。

「コロナに負けるな!」という事で、秋の行楽外出の代わりにオープンテラスで秋を感じながら「みつ豆・アイスコーヒー」を密にならないように楽しみました。

★入所のお知らせ★

- ・10月1日付 若林 伝さん 第二上田ひもろ木園より (りんどうホーム)



上田ひもろ木園福祉就労舎

上小圏域での警戒レベルが「1」に引き下げられ、休業していたパンの販売を先月の25日より再開いたしました。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

また、ご注文も承りますので職員にお申し付け下さい。

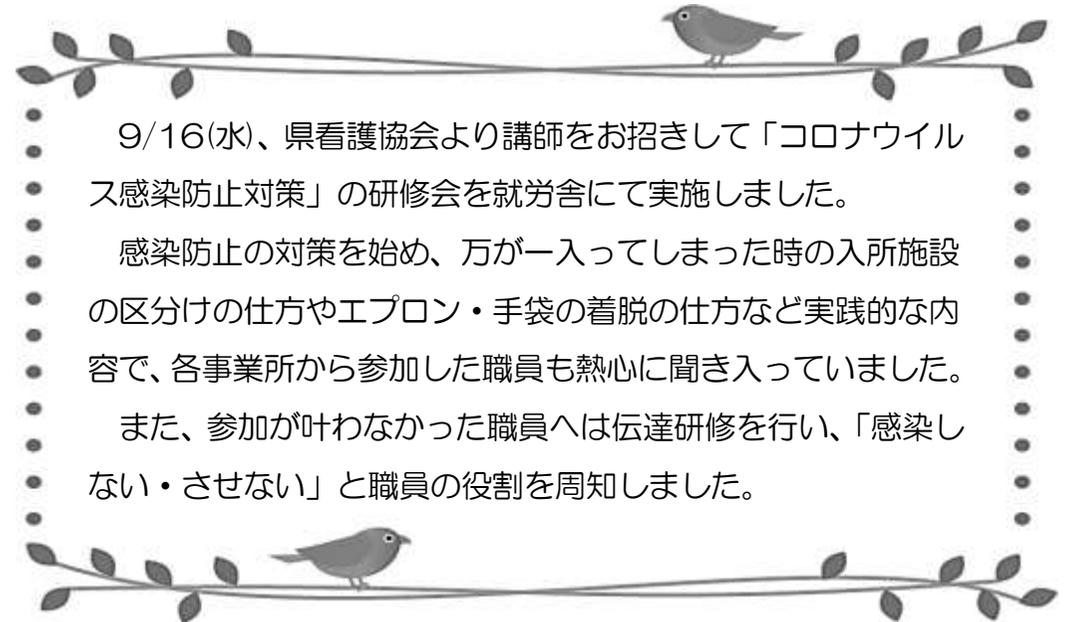
第二上田ひもろ木園(グループホーム)

9月末日をもちまして、保野ホームを中止致しました。

3名の利用者さんは、りんどうホームへ2名・しらかばホームへ1名とそれぞれ異動されました。

ご家庭の皆様、引っ越しにご協力いただきありがとうございました。

新しい環境で不安になる利用者さんもおられると思いますが、しっかりとサポートさせていただきますのでご安心ください。



9/16(水)、県看護協会より講師をお招きして「新型コロナウイルス感染防止対策」の研修会を就労舎にて実施しました。

感染防止の対策を始め、万が一入ってしまった時の入所施設の区分けの仕方やエプロン・手袋の着脱の仕方など実践的な内容で、各事業所から参加した職員も熱心に聞き入っていました。

また、参加が叶わなかった職員へは伝達研修を行い、「感染しない・させない」と職員の役割を周知しました。

～新任職員のお知らせ(10月5日付)～

- ・常勤職員 支援員 新居すみれ 所属：第三上田ひもろ木園

～退職職員のお知らせ(9月30日付)～

- ・常勤職員 支援員 吉澤英隆 所属：上田ひもろ木園

毎日よく耳にする「コロナ禍」。「禍」は「か」と読み、「災い」や「災難」「不幸なできごと」を意味することばです。「コロナ禍」とは、新型コロナウイルスが招いた災難や危機的状況を指し、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するなか、3月半ば頃から新聞やネット上でよく見かけるようになりました。

「禍」が意味する「災い」には、「災いを転じて福となす」「災いも三年(置けば用に立つ)」などのことばもあります。新型コロナウイルスによる感染拡大は、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、新型コロナウイルスによってもたらされた「災い」についても、働き方や暮らし方をうまく変えて幸せに転じるよう心がけ、時が経ったときにコロナ禍がきっかけでよいこともあったと思えるように、日々を過ごしていきたいものです。